

第3学年

# はばたき

平成29年5月23日

第4号



## 事前の平和学習を行いました！

修学旅行では1日目に「第五福竜丸」の見学に行き、平和学習を行います。その事前学習として、19日の5・6時間目に第五福竜丸のビデオ学習を行いました。

第五福竜丸の学習や見学をもとに、『命の大切さ』と『平和な生活への感謝』についてもう一度考え、これからの生活にも活かしてほしいと思います。

### ビデオ鑑賞の後に書いた感想を紹介します！

今の平和が一番幸せなんだということが分かった。戦争のおそろしさが改めてよく伝わりました。(1組女子)

私たちができることは、広げていくことだと思う。そして注意の呼びかけをしていくことだと思う。もう犠牲者を出さないためにも私は積極的に取り組みたいと思った。(2組女子)

3つの原爆事故を忘れずに後世に伝え、核のない世界にしてほしいと思う。(2組女子)

修学旅行では21世紀の平和を望んでこの第五福竜丸を見学したい。また心に残ったことはそのまま心にとどめて、今そして将来の日本を変えていく意志をもって見学したいと改めて思った。(2組男子)

いきものの命を大切にしていきたいです。人の命の重さをしるような世界にしていきたいです。(1組男子)

この事件により日本は核の恐怖を世界で一番知っているからこそ核に対する運動が起きていて、今も日本は核を保有していないと思うので、これからもそれがつづいてほしい。(1組男子)

平和を望むなら、こうした過去の記憶をしっかりと理解し、後世に伝えていくべきだなと思った。(1組女子)

日本は今まで3度、核の恐ろしさを知っている。だから、その恐ろしさを世界に伝え、そして日本でも次世代に伝え、核をなくしてほしかった。(2組男子)

修学旅行でもいろいろなことを学び、知る中で、今の自分にできることはとても少ないかもしれないけど、その少ないことをしようと思います。日本の平和、世界の平和のために様々なことをやっていきたいです。(2組男子)

今の私たちは、昔のことをあまり知らないなので、このような時間があると昔のことに触れて、勉強できて、考えることができるのでいいなと思います。(1組女子)

第五福竜丸の展示に行ったときにはいろいろな物をこの目で確かめたいと思います。そして核や放射能についてもしっかりと考えていきます。(2組女子)

第五福竜丸の船員23名は全員被爆しているという船で、核の危険性を伝えることができる船だと分かった。核を一切爆発させない平和な世界にしていきたいと思った。(1組男子)